



日中は庁務員の先生が除雪をしてくれます



朝、出勤すると雪かきをしてくれている子どもたちがいました。話を聞くと「自主的に取り組んでいる」とのことでした。このような子どもたちが育つには何か秘密があるはずと思い、教頭先生に話を聞いてみました。

雪が積もった日は、本校の若い先生たちが朝早く学校に来て、生徒が安全に登校できるように除雪機を使って、道を作ってくれているとのことでした。長野県の教育者である林芋村先生の

「深雪せる 野路に小さき 沓の跡  
われこそ先に 行かましものを」  
という歌を思い出し、飯綱中の先生方の姿を見て、子どもたちが立派に成長していることを実感しました。



教育委員会に行った帰りに中学生の書き初め展が開かれていると聞き、メープラザに寄りました。本校の生徒の作品と共に、町内の福祉施設やフリースクール、ボランティアグループで活動している方々の作品が飾られていました。どの作品も豊かな表現力を感じる作品で、興味深く拝見させていただきました。1月23日(火)まで開催されているそうです。皆さんもお出かけ下さい。